

○「自治会長と地域の農地・農業を話し合う」

(京都府宮津市 府中地区連絡会議)(平成31年度第3回)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 令和元年10月19日(土) 19:00~21:30
- 場 所: 宮津市府中集会所
- 出席者: 農業委員1人、推進委員1人
協力員4人、自治会長4人、市議員1人
委員2人、委員以外9人
- 報告者: 増田 英雄 農業会議現地推進役

2 地区の特徴、状況、課題

- 府中地区; 農振地域の無い集落あり。府中農産物直売組合(7人)が直売所・小中学校に食材納入
- 国分・溝尻地区; 京カプラン策定済み。農地中間管理事業を取組中。海水流入で嵩上げが必要な農地あり
- 東部地区; 農業専従者はいない。漁家が家庭菜園として栽培。農振外地域で成り行きまかせの状況

3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 農業振興地域への編入を目指すための会議開催趣旨と制度説明
府中西部地区は、農業振興地域外で農業関係の支援措置が受けられない状況で、農地を守ることが難しいので編入を目指したい(西部: 中野、小松、溝尻、国分地区)
(意見交換) ・都市計画の用途区域と農業のあり方を組織的に協議する必要がある
・府中地区は移住特区になっているが、農業振興が中心となっているのではないか
・地権者と農業者のみんなが話し合い、調整する必要がある
- 今後の取り組み ・アンケートの実施(地権者と耕作者の意見聴取) ・次回会議で結果を検討



4 活動結果

- 情報・意見交換 2.5 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援